

★別居の場合、提出ください。(単身赴任と未成年の子が就学により親元を離れて暮らす場合は不要です)

記入見本

仕送り額報告書

下記のとおり、別居の扶養申請対象者に対して、私が生活費を負担し仕送りすることを報告します。

記号	1234	番号	123456	被保険者名	健康 太郎
----	------	----	--------	-------	-------

①扶養申請対象者名	健康 幸子	続柄	母	生年月日	S●年●月●日
②扶養申請対象者名		続柄		生年月日	

1. 扶養申請対象者への仕送りについて

	本年仕送り額	備考		翌年仕送り予定額	備考
1月			1月	●●,●●●●円	
2月			2月	●●,●●●●円	
3月			3月	●●,●●●●円	
4月			4月	●●,●●●●円	
5月	●●,●●●●円	仕送り開始	5月	●●,●●●●円	
6月	●●,●●●●円		6月	●●,●●●●円	
7月	●●,●●●●円		7月	●●,●●●●円	
8月	●●,●●●●円		8月	●●,●●●●円	
9月	●●,●●●●円		9月	●●,●●●●円	
10月	●●,●●●●円		10月	●●,●●●●円	
11月	●●,●●●●円		11月	●●,●●●●円	
12月	●●,●●●●円		12月	●●,●●●●円	
合計	●●●●,●●●●円		合計	●●●●,●●●●円	

〔注意〕

- ①今回、扶養申請するにあたり仕送りの現状と、今後1年間の仕送り予定額を記入ください。
- ②各月の仕送り金額と年間合計額を記入ください。
- ③原則、手渡しは認められず、毎月金融機関を通じて送金している事実が必要です。
- ④仕送りをしていれば、被扶養者として認められる訳ではありません。
- ⑤実際の仕送り額が本報告どおりでなかったり、被保険者が扶養申請対象者の主たる生計維持者とは認められない金額である場合、被扶養者の認定は取り消しとなります。

2. 扶養申請対象者の生活費について

(月・円)

被保険者以外の別居家族からの援助額		●●,●●●●円
対扶養者申請の請	生計費(1)人分	●●,●●●●円
	収入	●●,●●●●円
	預貯金等からの充当額	●●,●●●●円
同居の家族の収入等からの充当額		0円
その他	(老齢基礎年金)	●●,●●●●円

・扶養申請対象者と同居家族がいて、対象者分だけを把握出来ない場合は、同居のご家族分も含めて記入してください。

・生計費とは衣食住費・水道光熱通信費・医療費・教育娯楽費・保険料・その他雑費等、生活する上での全ての費用の年平均の大よその額を記入してください。

添付書類(仕送を証明する書類)

- ・(振込されている側の確認書類) 直近3ヶ月分の金融機関による振込明細のコピー
- ・(振込を受ける側の確認書類) 扶養申請対象者の通帳のコピー(名義・振込金額の確認できるページ)
- * 扶養認定後も、扶養確認調査時には仕送り状況を確認いたしますので、上記書類は大切に保管ください。